

〔今昔物語 二十〕 閑院冬嗣右大臣並子息語第五

今昔閑院ノ右大臣冬嗣ト申ケル人ノ御子數御ケリ、兄ヲバ長良ノ中納言ト申ケリ、何ナル事ニカ有ケム、此ノ中納言ハ太郎ニテハ御ケレドモ、弟二人ノ下薦ニテゾ御ケル然レドモ、此ノ中納言ノ御子孫ニ御マス、何況ヤ上達部ヨリ以下ノ人ハ世ニ隙無し、二郎ハ太政大臣マデ成上リ給テ、良房ノ大臣ト申ス、白川ノ太政大臣ト申ス、此レ也、藤原ノ氏ノ攝政ニモ成リ、太政大臣ニモ成給フハ、此ノ大臣ノ御時ヨリ始レバ也ケリ、凡ソ此ノ大臣ハ、心ノ俸テ廣ク、身ノ才賢クテ、万ノ事人ニ勝レテゾ御ケル、略○中 此ノ大臣ハ、此ク微妙ク御ケレドモ、男子ノ一人モ不御ザリケレバ、末ノ不御ヌガ極メテ口惜キ也トゾ世ノ人申ケル、三郎ハ良相ノ右大臣ト申ケル、世ニ西三條ノ右大臣ト申ハ此也、其ノ比淨藏大徳ト云フ止事无キ行者アリケリ、其ノ人ト極ジキ檀越トシテ、大臣千手陀羅尼ノ靈驗蒙リ給ヘル人也、此ノ大臣ノ御子ハ、大納言ノ右太將ニテ名ヲバ常行ト申ケリ、而ルニ其ノ大將ノ御子二人有ケリ、兄ハ六位ニテ典藥ノ助ニ成テ名ヲバ名繼トゾ云ケル、弟ハ五位ニテ主殿ノ頭ニテ名ヲバ棟國トゾ云ケル、皆糸賤キ人ニテ有ケレバ、其子孫无キガ如シ、然レバ彼ノ太郎長良ノ中納言ハ、弟二人ニ被越テ、辛シトコソ思ヒ給ヒケメドモ、其弟二人ノ御子孫ハ无シテ、此ノ中納言ノ御子ハ數御ケル中ニ、太政大臣關白ニ成リテ、御名ヲバ基經ト申ス人御ケル、其ノ御子孫繁昌シテ、于今榮テ微妙ク御マス、○御マス三字、原脱據一本補、此ヲ思フニ、世ノ人當時弊ケレドモ、遂ニ子孫榮エ、當時吉ケレドモ末无シ、此レ皆前生ノ果報也トナム、語り傳ヘタルトヤ、

〔大鏡ニ太政大臣良房〕 此殿ぞ、藤氏のはじめて太政大臣攝政し給ふ、めでたき御ありさまなり、わかもあそばしけるにこそ、古今にもあまた侍るめる、前のおほいまうちぎみとは、この御事なり、おほかる中にもいかに御心ゆき、めでたくおぼしてあそばしけん、とをしはからる、御むすめそ